

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 24 日

評価対象事業		評価者	文化人権推進課長 春日和美
経企-27 文学館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化人権推進課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針
			文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	観覧や教養及び調査・研究に資するため。
効果	鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者により、文学館の効率的な管理運営を行った。 指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数	110,046人	
運営資源状況	当初予算(千円)	72,469	決算値(千円)	71,059	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	33	その他	32	
	一般財源	72,436	一般財源	71,027	
事業経費運営	人員配置数	0.7	人員配置数	0.7	
	人件費(千円)	5,542	人件費(千円)	5,312	
	総事業費(千円)	78,011	総事業費(千円)	76,371	
市民1人当りの経費(円)	440	市民1人当りの経費(円)	430		
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		694

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	施設・設備の老朽化に伴う大規模修繕を視野に入れ、修繕を計画的に行う必要がある。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	指定管理者と協議を行い、緊急度合い等を考慮しながら、計画的に修繕を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題 新たな課題	施設・設備の老朽化が進行しているため、大規模修繕を視野に入れつつ、指定管理者と協議を行っていく中で開館に支障がでないよう緊急度の高い箇所、設備について計画的に修繕を行っていく必要がある。		
効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である	
		協働実施済の場合のパートナー	市民団体(不特定)
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 指定管理者制度により文学館の効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行っていく。	
総評	開館から30年経過し施設、設備の老朽化が顕著であるが、観覧者の安全性を考慮し、優先度の高い箇所から随時修繕を行った。引き続き、指定管理者と協議し、計画的に修繕を行うこととする。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項 延床面積・観覧者数(H26)										
団体名	鎌倉市 鎌倉文学館	県 県立近代文学館	横浜市 大佛次郎記念館	世田谷区 世田谷文学館						
他市実績	1,412㎡	7,285㎡	768㎡	4,593㎡						
	110,046人	46,255人	16,678人	156,521人						
比較事項										
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	観覧者数(年間)						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
より多くの市民等に施設を利用してもらうため。	目標値	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人				
	実績値	110,046人									
	達成率	110.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標観覧者数を一定にし、毎年度目標値以上の観覧者数を目指すこととする。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---